希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

＜岩手県▽
☆大船渡市赤崎町の鮮魚店・千葉鷹商店を経営するご夫妻へ　千葉鷹商店の魚介類を購入していた宮城県多賀城市の清水宏一さん(79)が心配しています。「いつも丁寧に対応してくれました。ご無事を祈っています。自宅（022・368・5070）に連絡ください」

＜宮城県▽
☆女川町の佐藤良一さん、妻の景子さん（ともに70代）、良一さんの姉の次子さん、弟のひろみさん（表記不明）、妹の良子さんへ　良一さんのいとこで、岩手県一戸町の田中宏美さん(74)が消息を求めています。「心配しています。自宅に連絡ください」

☆南三陸町志津川本浜町の「すし屋のあおば」の親方夫婦（50代半ば）へ　千葉市稲毛区の秋田知道さん(71)が心配しています。約15年前、仙台市から自転車でやってきて、グルメ誌で見つけた店を訪れました。親方は自転車で食べに来たことに感激していくつもすしをふるまい、おかみさんはおいしい水をボトルに詰めてくれたそうです。「お二人の親切が心にしみました。店が再開したら必ず食べに行きます。自宅（043・215・4651）に電話をください」

みつかりました

▽3月30日掲載の福島県いわき市の田中フクさんは、心配して迎えに来た友人宅に避難していました。その友人から希望新聞掲載を知らされ、遠縁の札幌市、加藤奈津子さんに電話しました。加藤さんは「掲載から半月たちあきらめていたけれど安心しました。余震で断水が続いているのが気がかりです」。

▽31日掲載の宮城県東松島市の松浦奈々子さんは、無事でした。電話を受けた旧友で青森市の安田登美子さんは「2カ所目の避難所生活と言っていたけれど、昔通り元気な声だった」と喜んでいました。

▽11日掲載の宮城県女川町の渡部松雄さん一家は町総合体育館に避難していました。長女久美子さんの親友が希望新聞を見て、投稿した大学時代の友人、甲府市の野沢博さんに電話で知らせました。仙台市の久美子さんの妹も無事でした。

▽12日掲載の福島県いわき市の岩田芳夫さんから、友人で北九州市の井手一夫さんに掲載当日、電話がありました。岩田さんの自宅は福島第1原発から40キロ圏内にあり、「避難対象地域になるかもしれないので心配」と話したそうです。

＜13日掲載分＞
▽宮城県石巻市の初貝錠治さん、京子さん夫妻と子どもたちも元気でした。知人で横浜市の坂井玲子さんに電話がありました。「旅行先のペンションで知りあい、孫たちをかわいがってくれたのです。無事がわかり涙が出ました」

▽岩手県大船渡市の佐々木美枝さん一家も、自宅で無事でした。元同僚で茨城県日立市の樫村篤さんに、掲載当日連絡がありました。「元気な声を聞けてうれしかった」

▽宮城県七ケ浜町の稲妻春雄さんから、捜していた福岡市の末次貴美雄さんに電話がありました。「固定電話は復旧せず、お孫さんの携帯電話からでした。福岡沖玄界地震の時に米を送ってくれたお返しに、博多ラーメンを送ります」

がんばろう

●私たち「NY華の会」は、ニューヨークで一緒に着付けを学んだグループです。日本の伝統文化である着物を身につける喜びが、海外で暮らしながら日本を愛し、日本人として頑張ろうという精神につながっています。今回の震災は米国でも大きく報道されており、日本人はもちろん、さまざまな国籍の人々が心を痛め、心配しています。16日に、30組を超えるアーティストの参加を得て、美術工芸品をチャリティー販売するイベントを行います。売り上げは被災地へ寄付します。このイベントが、少しでも被災地の皆さんのお役に立ちますように。参加者も私たちも、遠く離れていても心は皆さんと一緒です＝米国ニューヨーク在住、宮下裕子さん、田辺里絵さん、田村朋子さん

お手玉作りに励む（右から）小沢崎子さん、晴野恵美子さん、杉山玲子さん

伝言板

▼お手玉送ります　岐阜市の小沢崎子さん(76)と友人が手作りしたお手玉を、被災地の人に送ります。小沢さんたちはこれまで自宅近くの病院や老人ホームにお手玉を寄付し、喜ばれたそうです。

小沢さんは「避難している皆さんの苦労が身に染みて、胸が痛みます。お年寄りは手でも少し動かせるよう、お子さんにも遊んでもらえるよう、少しでもお役に立てばうれしい」と話しています。これまでに100個くらい作りました。希望者は氏名▽送り先の住所、電話番号▽希望個数を書いて、ファクス（058・294・8601、長屋方）へ申し込んでください。

ツイッターでも随時発信

ツイッター（@mainichi_kibou）でも、被災した皆さんへのサポート情報や、各地の支援の動きを随時発信しています。これまでのツイートはこちらで検索できます。
http://bit.ly/frO91P

サポート情報
～東日本大震災～

15日現在

医療

16日に診療を予定している医療機関。余震、停電などの影響で、変更の可能性がある。

＜岩手県▽
県立の大船渡、久慈、宮古（釜石と、国立釜石、盛岡赤十字、奥州市総合水沢、岩泉は救急のみ▽せいてつ記念は内科、泌尿器科で通常診療。耳鼻科は通常診療で受け付けは11時まで。外科はかかりつけの人のみ通常診療。眼科は予約のみ通常診療。整形外科は新患のみ通常診療。救急は整形外科のみ受け付け▽県立高田は米崎地区コミュニティセンター（陸前高田市米崎町）内で9～12時と13～15時に総合内科の仮診療所を設置

＜宮城県▽
◆仙台市　仙台市立、仙台赤十字は救急のみ▽急患センター（若林区）は内科、外科で14時45分～23時、小児科で14時45分～翌7時◆仙台市外　石巻赤十字は重症と重篤の救急のみ▽塩釜市立、県立循環器・呼吸器病センター、栗原市立栗原中央、同市立栗駒、同市立若柳、国立宮城、気仙沼市立は救急のみ▽赤石は外科のみ9～12時に外来受け付け▽真壁は内科、外科、循環器科、整形外科で8時半～11時半に外来の受け付け▽同市立本吉は内科、外科、小児科で8時半～11時半に外来の受け付け▽名取市立休日夜間急患センターは内科のみ14時～16時半、18～21時▽公立志津川は18日から通常診療

＜福島県▽
県地域医療課　☎024・521・7221

＜茨城県▽
救急医療情報システムで案内　☎029・241・4199

給水

16日に予定されている主な給水場所や問い合わせ窓口は次の通り。ポリタンクなどの容器持参が必要。（C＝センター）

＜岩手県▽◆大船渡市＝給水車で巡回☎0192・27・3111◆陸前高田市☎0192・59・2111◆釜石市＝給水車で巡回☎0193・23・5881

＜宮城県▽◆気仙沼市＝本吉総合支所ほか☎0226・23・2560◆石巻市・東松島市（石巻地方広域水道）☎0225・95・6711◆栗原市＝7～18時にほっと館◆柴田町＝農村環境改善C◆多賀城市＝8時半～17時に高橋地区生活C、22・2111

＜宮城県▽◆仙台市＝1・2期分233戸を18日まで市役所と宮城野、若林区役所☎0120・055・150◆石巻市　2期分200戸を20日まで市役所、支所、避難所☎0225・95・1111◆多賀城市　1期分45戸を27日まで市役所☎022・368・1114◆東松島市　1期分252戸を18日まで市役所、支所☎0225・82・1111◆亘理町　町役場☎0223・34・0512◆七ケ浜町　1期分115戸を18～30日、町役場☎022・364・2337◆南三陸町　1期分139戸を21日まで仮庁舎（町総合体育館敷地内）☎0226・46・1377

＜福島県▽◆白河市　20日まで市役所☎0248・22・1135◆川内村　18日まで仮庁舎（郡山・ビッグパレット）☎024・946・3378◆須賀川市　1期分194戸を24日まで市役所☎0248・76・7196◆南相馬市　1期分505戸を5月6日まで市民文化会館、鹿島区役所☎0244・24・5253

＜茨城県▽◆北茨城市　22日まで市役所☎0293・43・1111

＜千葉県▽◆旭市　市役所☎0479・62・5895

入浴

＜福島県▽いわき市周辺の一般の入浴施設は次の通り。いわき健康センター＝いわき市小浜町中ノ作☎090・4046・4126▽極楽湯福島いわき店＝いわき市葉山☎0246・76・1926▽尼子湯＝いわき市平堂ノ前☎0246・23・3002（14時からお湯がなくなるまで）▽いわき湯本温泉の日帰り温泉＝いわき湯本温泉旅館協同組合☎0246・43・3017（15日時点で旅館6軒が日帰り入浴再開。公衆浴場の「みゆきの湯」「さはこの湯」も営業中）

仮設住宅

仮設住宅の入居募集や説明会を行っている主な自治体の受付場所、問い合わせ先は次の通り。

＜岩手県▽◆宮古市　市役所、避難所☎0193・62・2111◆大船渡市　18日まで市役所、避難所☎0192・27・3111◆陸前高田市　仮庁舎（エコタウン鳴石）☎0192・59・2111◆釜石市　14地区について受け付け中。地区拡大前に応募した人は再応募も可。仮庁舎（シープラザ釜石）☎0193・22・8261、8262◆岩泉町　避難所などで申込書を配布☎0194・22・2111

体操をして体をほぐす避難所の被災者＝宮城県南三陸町で15日、梅村直承撮影

住宅

被災住宅の応急修理費の補助制度に、災害救助法に基づく「住宅の応急修理制度」がある。住宅が半壊、大規模半壊、全壊で応急修理をすれば居住可能となる▽応急修理をすれば避難の必要がない▽仮設住宅を利用しない――の3条件にすべて該当する世帯が対象。年収制限などもある。修理できるのは、屋根や柱、ガス管など、地震によって壊れた緊急度の高い部分のみで、1世帯あたりの限度額は52万円。通常は災害発生から1カ月以内の工事完了が条件だが、東日本大震災では各自治体が弾力運用しており、現在も申請可能。希望者は早めに各自治体へ。

再建・補修について、国土交通省が専用電話相談窓口（☎0120・330・712）を開設している。実施主体は住宅瑕疵（かし）担保責任保険協会。面談窓口を▽ハウスプラス住宅保証東北営業センター（仙台市青葉区本町2）▽郡山建設会館（福島県郡山市台新1）▽水戸・建築会館（水戸市笠原町）の3カ所に設置（予約優先）。被災住宅の診断希望者には、現地に検査員を派遣して補修費用など具体的な相談に応じる。業者の紹介も可能。電話・面談窓口共に日曜・祝日は休み。

各県も住宅全般の相談に応じる窓口を設置している。岩手県住まいのホットライン☎0120・882・606▽宮城県建築宅地課☎022・211・3243（土・日曜休み）▽福島県相談窓口☎024・521・7698、7867▽茨城県建築センター☎029・305・7300（日曜休み）

その他

■映　画

＜岩手県▽◆盛岡市　中央映画劇場（中央通1☎019・624・2879）▽盛岡東宝（同☎019・622・3422）▽盛岡ピカデリー（同☎019・653・2420）▽盛岡ルミエール（菜園2☎019・625・7117）▽フォーラム盛岡（大通2☎019・622・4770）▽アートフォーラム（同☎019・681・1327）◆北上市　ワーナー・マイカル・シネマズ北上（本通り2・さくら野百貨店北上店5階☎0197・64・2525）◆宮古市　みやこシネマリーン（小山田2☎0193・64・5588）◆一関市　一関シネプラザ（磐井町☎0191・23・2902）23日から上映再開。

＜宮城県▽◆仙台市　フォーラム仙台（青葉区木町通2☎022・722・8786）▽チネ・ラヴィータ（宮城野区榴岡2・BiVi仙台駅東口2階☎022・299・5555）◆名取市　ワーナー・マイカル・シネマズ名取エアリ（杜せきのした5・イオンモール名取エアリ3階☎022・381・0708）24日から上映再開。

＜福島県▽◆福島市　フォーラム福島（曽根田町☎024・533・1717）▽ワーナー・マイカル・シネマズ福島（曽根田町☎024・533・0740）15日から上映を再開した◆いわき市　ポレポレいわき（平白銀町☎0246・22・3394）上映回数を減らして営業中◆郡山市　郡山テアトル（駅前2☎024・922・0826）◆会津若松市　会津東宝（中央1☎0242・24・4778）

■眼　鏡

メガネ・パリミキ（本社・東京都品川区、中尾文彦社長）の避難所巡回の予定は次の通り。視力を測定し、既製品から比較的合った眼鏡（近視、遠視、老眼）と補聴器を無償提供し、修理も行う。補聴器用電池も提供。お客様センター☎0120・199・101

＜宮城県▽東松島市　18日＝東松島市コミュニティセンター（11時）▽小野市民センター（15時）▽美里町南郷体育館（17時）▽19日＝赤井市民センター（11時）▽赤井地区体育館（14時）▽大塩市民センター（17時）▽20日＝縄文村交流館（11時）

■商業施設

仙台三越　限定営業していたが15日、全フロアでオープン。10～18時。

仙台フォーラス　一部店舗を除き9フロアで17日、営業再開する。全10フロアでの営業は29日からを予定。10～18時。

ファミリーマート仙台空港前店（宮城県岩沼市下野郷）の駐車場で16日から数日間、配送用のトラック（4トン）による臨時店舗を開く。パンや菓子、飲み物、日用雑貨など100種類を販売。9～16時だが、売り切れ次第終了する。

■郵　便

郵便局会社は沿岸部の被災地に、車両型の移動郵便局15台を配置。16～18日の予定は次の通り（いずれも11～14時）。

＜岩手県▽陸前高田市立学校給食センター▽大槌高▽旧釜石商高避難所（以上全日）▽釜石市立栗林小（16～17日）▽山田北小▽大船渡地区公民館（16日）▽山田町立大沢小▽大船渡市・末崎地区ふるさとセンター（以上17日）▽大槌町立吉里吉里小▽大船渡中（18日）

＜宮城県▽南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ（全日）▽石巻市立湊小▽同市立青葉中▽南三陸町立歌津中▽岩沼市民会館（以上16～17日）▽七ケ浜国際村▽多賀城市総合体育館（以上16、18日）▽石巻市鮎川集会所▽亘理小（以上16日）▽石巻市立寄磯小▽七ケ浜中央公民館▽多賀城市文化センター▽亘理高（以上17日）▽石巻市立大須小▽同市立大街道小▽南三陸町泊浜生活共同利用センター▽名取市立高舘小▽山元町立山下一小（以上18日）

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000（9～19時）
福島県警　0120・510・186

●交通機関
JR東日本　050・2016・1600（6～24時）
JAL（国内線）　0570・025・071　（7～20時）
ANA（国内線）　0570・029・222

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
▽文部科学省健康相談ホットライン　0120・755・199（9～21時）
▽放射線医学総合研究所相談窓口　043・290・4003（9～21時）
＜人工透析＞
▽岩手県　人工透析相談窓口　019・629・5471
▽宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221
＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会　0120・755・745（平日13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（平日10～16時）
福島県弁護士会　024・534・1211（平日14～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン支援センター　0120・99・7777（月～土16～21時）
多文化共生マネージャー全国協議会
▽英語　080・3503・9306（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888（10～16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁　※平日のみ
住宅の補修・再建（国交省）0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）　0120・707・118※

●金融機関など　※平日のみ
岩手銀行　0120・064・626※
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　0120・877・562
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫0120・154・505（土日0120・220・353）
そんがいほけん相談室（日本損保協会）
0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター　0120・501・331※
生命保険相談所（生保協会）　03・3286・2648※
災害地域生保契約照会センター　0120・001・731※

■移転した役所と連絡先■

＜岩手県＞
陸前高田市　エコタウン鳴石　☎0192・59・2111
釜石市　シープラザ釜石　☎090・2533・5098
大槌町　町中央公民館　☎080・1851・4911（25日以降、大槌小に再移転）

＜宮城県＞
女川町　女川第二小学校　☎0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ　☎0226・46・2600

＜福島県＞
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　☎0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　☎0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット　☎024・946・8813
川内村　郡山・ビッグパレット　☎024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎　☎0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　☎0480・73・6880
浪江町　二本松市東和支所　☎0243・46・4731
葛尾村　会津坂下町・川西公民館　☎0242・83・2651
★双葉郡支援センター　☎0120・006・865
福島県双葉郡の上記8町村から避難した住民に連絡を呼び掛けている。8～22時。

希望新聞

声 被災地から

岩手

野田村で「野田村の歴史を語る会」会長の久慈竹蔵さん（83）「1933年の津波では、家を失い寒さに震える村人の姿を覚えています。その後、海岸沿いに松林や堤防ができました。当時の記憶を持つ人たちで60年目に語る会を開いた時、『津波が来ても今度は大丈夫だろう』と話していましたが……。先月の津波で壊れた知人宅の土蔵から戦時中の召集名簿など貴重な歴史資料が見つかりました。こうした品々も多くが今回失われてしまった。村の歴史が消えてしまうのではと心配です」

難を逃れた召集名簿を見つめ、村の歴史を後世に残したいと話す久慈竹蔵さん＝関雄輔撮影

宮古市千鶏地区を津波が襲った瞬間＝木村さん撮影

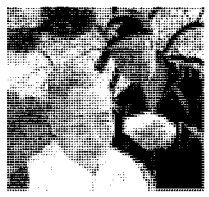
宮古市千鶏地区を津波が襲った瞬間を撮影した県立宮古工業高校3年、木村大希さん（17）「青くきれいだった海がそのまま堤防を越えて集落を襲ってきました。母校の小学校もぐちゃぐちゃです。今も余震があるたびに怖いと感じます。家は高台にあって無事でしたが、家業の養殖ワカメも船も失いました。自動車整備工になりたくて工業高校に入ったんですが、将来は土木建築の仕事に就いて復興の仕事に携わりたいと思っています」

木村大希さん

避難所生活をしながらピアノコンクールに向けて練習する大船渡市の高校1年、菊池文江さん（15）「全国ピアノコンクールの東北予選に向け練習に打ち込もうとしていたところでした。津波に家もピアノも流されました。出場はあきらめていましたが、ピアノ教室の先生に『夫の実家に電子ピアノがあるから』と言っていただき、避難所から毎日、約2時間の練習に通っています。コンクールは4月17日から5月に延期になりました。ピアノを弾ける喜びと感謝を込めて演奏したいです」

練習に打ち込む菊池文江さん＝時田備憲撮影

大槌町立安渡小学校の体育館で夫の幸太郎さん（72）と避難生活を送る長峰登喜子さん（73）＝写真・高木香奈撮影＝「髪を染めてもらいました。髪だけはおしゃれをしないと。1週間くらい風呂に入れないこともありましたが、自衛隊が風呂を設営してくれたりして、くつろげています。でも、ホタテ養殖の仕事場が流され、仮設住宅に入居できる見通しもないので、今後のことは分かりません」



見つかったランドセル

陸前高田市立第一中学校で避難生活を送る同市の小学1年、金野愛生さん（6）「津波で家が流され、入学のお祝いにおばあちゃんからもらった赤いランドセルも流されました。でも、消防団の人ががれきの中から拾って、ランドセルの名前を見て届けてくれました。泥だらけだったけど、水で洗ったらまたピカピカ。入学式は20日です。たくさん友達を作って一緒に遊びたいな」

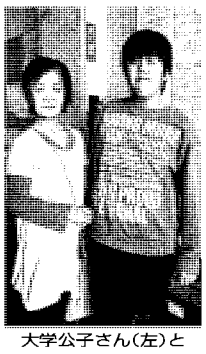
見つかったランドセルを抱える金野愛生さん＝鈴木敦子撮影

宮城

石巻市立北上中学校の体育館で同市の主婦、武山慶子さん（50）「震災後2週間くらいから物資が届き始めました。各地からの支援に非常に感謝しています。アルバイト先の水産加工会社は建物が流され、解雇されました。仕事をしたいという意欲はあるのですが、どこに住むかが決まらないうちは、落ち着かないですね」

段ボールで収納箱を作る武山慶子さん＝後藤豪撮影

仙台市の若林体育館で避難生活を送る無職、大学公子さん（68）「まだまだ避難所生活が続きそうだし、余震も収まらないので不安な日々が続いています。しかし、自宅から遊びに来る孫の涼雅の元気な顔を見ると、疲れが消える。今月、七郷中に進んだ涼雅はサッカー部に入ると張り切っています」


大学公子さん（左）と孫の大友涼雅くん＝三村泰揮撮影

石巻市・牡鹿半島のドライブイン「瑞幸」に親族計13人で避難している同店の料理人、甲谷泰成さん（48）「復興作業で道路を行き来する住民や自衛隊の皆さんと心を一緒にしたいと思って、店の外壁に『がんばろう石巻』の文字を張りました。断水と漁の中断で、店はいつになったら営業再開できるのか分かりませんが、また魚料理でおもてなししたいです」

壁に「がんばろう石巻」の文字を張る甲谷泰成さん＝比嘉洋撮影

福島

福島市のあづま総合運動公園に避難している浪江町の電気工事会社勤務、清水喜美男さん（53）「避難所生活には慣れてきましたが、この間とても長く感じた。兼業農家として米を作ってきましたが、これで田を放棄せざるを得ない。何年も帰れないんだろうか。ただただ平凡な生活に一刻も早く戻りたい」

清水喜美男さん＝金寿英撮影

同運動公園に避難している浪江町のパート従業員、上野ミキ子さん（58）「主人と2人で着の身着のまま逃げてきました。避難所では衣類や下着を配布してくれるので助かっています。最近着ているセーターやシャツ、ズボン、下着はほとんどがもらい物です。ただ、先の見えない避難生活に不安は募る一方です」

二本松市の二本松青年海外協力隊訓練所に避難している南相馬市の主婦、福島正子さん（51）「地震以来、家族5人で避難所3カ所を転々とし、無我夢中で過ごしてきました。中学1年生の長女が二本松市の中学に入学したこともあり、原発が落ち着くまではここにいたいと考えているんですが、また移動しなくてはならなくなるのではと不安です」

ボランティア

児童養護施設支援の会

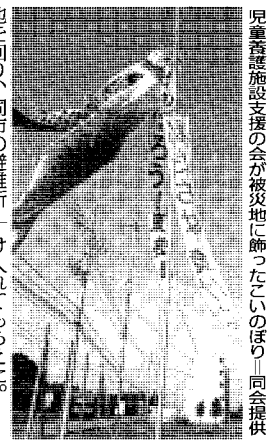
支援 まだ不十分

「被災者には息抜きも必要」

児童養護施設と支援者の橋渡しなどに取り組む児童養護施設支援の会（埼玉県春日部市）は3月22日から、宮城県東松島市で支援活動を進めている。

震災直後、高橋雄吾代表（43）は発電機や医薬品、食料を買い込み、被災地の児童養護施設に駆け付けた。物資を届けた施設の子どもたちの無事が確認できたため、「何かできることを」と被災地を回り、同市の避難所を見つけた。

周囲は津波で流された車や樹木が積み上がっており、被災者らは避難生活に精いっぱい。高橋さんが支援を申し出ても、被災地で盗難事件が発生していたためか、初めはいぶかしがられたという。だが、がれきの撤去などに取り組むうちに受け入れてもらえた。


児童養護施設支援の会が被災地に飾ったこいのぼり＝同会提供

被災地では社会福祉協議会が運営するボランティアセンターが設置されているが、センターの人手は少なく、ボランティア活動に不慣れな人も訪れるため作業は思うようにはかどらない。一方、支援を求める人は多く、十分に行き渡らない。高橋さんは「行政機関などが体制を作るには時間がかかる。その間、スキルがある人は被災地に行くべきだと思った」と振り返る。

週末にはボランティアが30人を超えることもある。被災者の気持ちがなえないようにバーベキューや、こいのぼりを立てるといった企画にも取り組む。高橋さんは「被災者は『大変だね』『かわいそう』と言われてばかりでは嫌になる。息抜きになるものが必要」と語り、地元住民とともに復興を支えていく。ウェブサイト（risecommunication.community.officelive.com）で活動を紹介している。【五味香織】

避難所や農作業手伝いなど募集

NPO法人NICE（日本国際ワークキャンプセンター、東京都）は岩手県陸前高田市などで支援に取り組むボランティアを募集している。同市ではがれきの片付けや避難所の手伝い（最大65人、2週間以上）、福島県会津若松市で避難所の子どものケアなど（同90人、同）、宮城県栗原市で農作業など（同30人、1週間以上）で、申し込み、問い合わせはウェブサイト（www.nicel.gr.jp/）から。

Q&A

Q 保険やローン、預貯金の問題で悩んでいます

A さまざまな特例があります

■保険

生命保険は生命保険協会（☎0120・001731、平日のみ9～17時）、地震保険は日本損害保険協会（☎0120・501331、同）へ連絡すれば、保険加入の有無や加入先の保険会社、契約内容を調べてくれます。証券がなくても運転免許証などで本人確認できれば保険金を受け取れます。契約者が行方不明の場合、公的機関が死亡を認定した証明書が必要です。

保険料が払えなくなっても、生損保とも申し出があれば、支払いを最大6カ月猶予しています。申し出がなくても契約が失効しない措置を取っている会社もあります。

津波で自動車が流された場合、地震・津波・噴火が自動車保険の免責事項なので、「地震特約」をつけていないと保険金を受け取れません。

■ローン

家や車を失っても、ローンは残ります。住宅ローンの契約者が亡くなった場合、団体信用生命保険が残債を肩代わりします。住宅金融支援機構（災害専用ダイヤル0120・086・353、9～17時）は返済の一時猶予に応じるほか、住宅再建や補修の低利融資制度があります。

■預貯金

通帳やキャッシュカードを無くした人もいるでしょう。ほとんどの金融機関が運転免許証などで本人と確認できれば、窓口で10万円までの引き出しに応じています。他県に避難した場合でも、地元の銀行と連携する他行の窓口で預金引き出しが可能。郵便局では20万円を限度に貯金を引き出せます。

親類などから生活資金を送ってもらうため、新たに口座を開設する場合、本来は「犯罪収益移転防止法」で本人確認書類の提示が必要です。しかし、政府は震災に伴う暫定措置として、書類がなくても口座を開けるよう3月に法律施行規則を改正しました。【和田憲二、大久保渉、西貴晴】

■受け入れ中の自治体■

県外から被災地へのボランティア受け付け状況は次の通り。がれき撤去、泥かきなど。移動手段、食事、宿泊などすべて自分で確保する。くぎを踏むけがが増えており、安全靴か中敷きで補強した長靴の準備を。災害ボランティアセンター（VC）のウェブサイトなどで事前に情報を確認し、むやみな電話は避ける。

＜宮城県＞（VCのサイト msv3151.c-bosai.jp/）◆石巻市☎0225・23・6015（9～16時）。仙台駅東口7時45分出発の無料バスを18日まで運行予定。7時10分ごろから先着80人に整理券配布◆岩沼市☎080・5949・7541～2。直接センターへ。8人以上の団体は事前連絡を◆気仙沼市☎080・5949・7475。直接センターへ◆亘理町☎080・5949・7719（8時半～18時）◆南三陸町☎080・2055・1066、0878。必ず事前連絡を

＜福島県＞（VCのサイト ameblo.jp/pref-f-svc/）◆南相馬市☎0244・24・1877。鹿島では泥かきなど、原町では屋内作業など

× ×

ボランティアを希望する人は、まず基本的な情報を調べ、自分で何ができるか考えよう。

●全国社会福祉協議会被災地支援・災害ボランティア情報（www.saigaivc.com/） VC一覧のほか、基本的な心構えをまとめている

●助けあいジャパン（tasukeaijapan.jp/） ボランティアの募集・登録情報を種別、地域別などで掲載

●Yahoo！ボランティア（volunteer.yahoo.co.jp/） 支援活動中の団体などをまとめたほか、震災関連のイベントや募集の検索も

●東日本大震災支援全国ネットワーク（www.jpn-civil.net/） 全国のNPO、NGOなどが多数参加するネットワーク。初心者向け資料やVCの設置状況の地図など

ミニニュース

■原発避難者らは高速道路無料

東日本高速道路は、福島第1原発事故を受け、避難指示地域や屋内退避地域から避難する車などの高速料金を当面、無料にしている。福島県警の要請を受けて始めた措置で、同県内の13の入り口（本宮、二本松、福島西、福島飯坂、国見、いわき四倉、いわき中央、いわき湯本、いわき勿来、いわき三和、小野、船引三春、郡山東）から乗った車が対象。無料区間は原則、最初の料金所を通過するまで。出入とも一般レーンを使用して通行券は必ず取り、避難車両であることを申し出る。

■派遣業の相談会

総合人材サービスの「テンプグループ」は18日から首都圏などで、被災地外に一時的に移っている被災者に希望に合った仕事を紹介する相談会を開く。

紹介する職種はパソコンを使う事務派遣などが中心で、津波などで身分証明書をなくした人も派遣登録できる。相談会は東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木のほか、北海道や大阪でも予定。日時や場所、参加予約は電話（0120・537・102）または同社サイト（www.tempstaff.co.jp）で。子連れも可。

■ラグビー選手らが復興支援イベント

日本ラグビー協会は17日12～14時、東京都港区北青山の秩父宮ラグビー場駐車場で、チャリティーオークションや、出荷停止で風評被害に悩む地域の野菜の販売会を開催する。被災地出身の池田渉選手（リコー）、清野輝俊選手（クボタ・トップイースト）や、元日本代表の大畑大介さんら約40人が参加し、トークイベントや子どもたちとの交流を通して支援を呼びかける。売上金や募金は同協会を通じて日本赤十字社に寄付する。入場無料。問い合わせは同協会☎03・3401・3290。

■9月に建築家国際会議

今年9月に国内で初めて開かれる建築家の国際会議「第24回世界建築会議 UIA2011東京大会」の日本組織委員会は15日、大会のサブタイトルを発表した。東日本大震災を受けて、「災害を克服し、一丸となり、新しい未来へ」とした。大会はほぼ3年に1度の開催で、9月25日から10月1日まで東京都内で開かれる。国内や世界各地から3000人の建築関係者が集まる。震災に関するプログラムも新たに組み入れる予定。元日本建築家協会長で日本組織委員会の小倉善明会長は「世界の建築家の知恵をいただき、防災から復興まで議論ができる場にしたい」と語った。

義援金の主な受付窓口

※ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口での通常払い込みは手数料無料。他の銀行の本支店間の窓口振り込みも手数料無料。

●政府
・三菱東京UFJ銀行東京営業部 普通0322313
・三井住友銀行東京公務部 普通0167524
・ゆうちょ銀行 00130・6・623461
口座名はいずれも「東日本大震災義援金政府窓口」
※みずほ銀行にも開設予定。

●日本赤十字社
・ゆうちょ銀行 00140・8・507
「日本赤十字社 東日本大震災義援金」
※三井住友、三菱東京UFJの各銀行でも受け付け

●中央共同募金会
・ゆうちょ銀行 00170・6・518
「中央共同募金会 東日本大震災義援金」
※りそな、三菱東京UFJの各銀行などでも受け付け

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722
（9～18時）

被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

■近隣都道県の避難者受け入れ先■

＜北海道＞道外被災県緊急支援対策本部 ☎0120・113・926
＜青森県＞県生活再建・産業復興局 ☎017・734・9581
＜岩手県＞
県内陸部の宿泊施設で受け入れ。
県政策地域部の専用窓口 ☎019・629・5216
＜秋田県＞県被災者受入支援チーム ☎018・860・4504
＜山形県＞県避難者支援班 ☎023・625・1605、1608、023・630・3100
＜新潟県＞県避難者対策班☎025・282・1747
＜茨城県＞県避難対策班 ☎029・301・6735
＜栃木県＞相談窓口＝道の駅「那須高原友愛の森」 ☎0287・78・3033
＜群馬県＞県避難者受入れ支援センター ☎0270・26・9420～1
＜東京都＞都総合防災部 ☎03・5320・4007
＜神奈川県＞県災害支援担当☎045・210・5970
＜埼玉県＞県避難者総合相談センター ☎048・601・2220
＜千葉県＞県の避難者センター ☎043・223・3411
＜山梨県＞県支援対策室 ☎055・223・1519
＜長野県＞県の受入相談 ☎026・235・7407

■主なバスの運行状況■

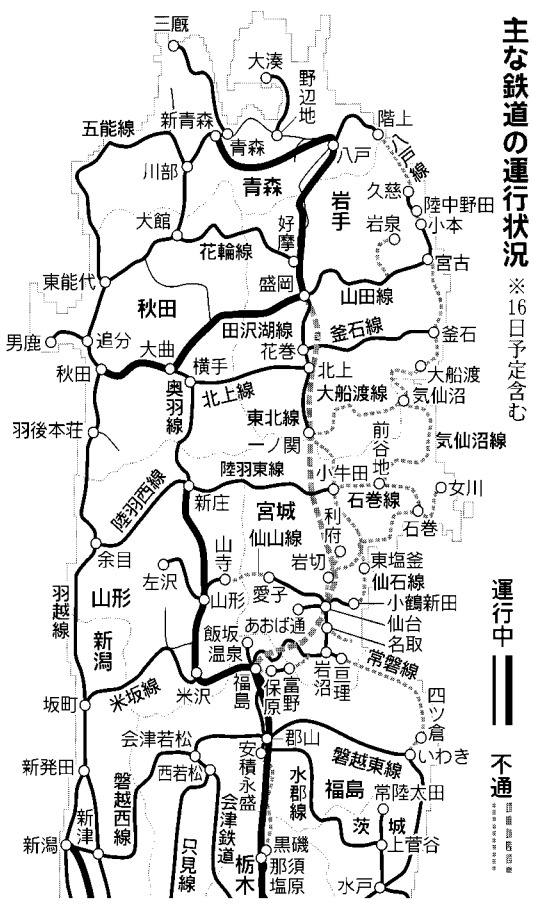
＜岩手県北バス＞☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行。
＜岩手県交通＞☎019・654・7755
釜石―大船渡は週末も運行。
＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310
18日から仙台近郊で通常ダイヤ。
＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235
仙台空港―JR名取駅で代行バスを運行。
＜日本三景交通＞☎022・354・5151
仙台―松島、松島―塩釜、仙台―多賀城で臨時運行。
＜福島交通＞☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
福島―いわきなど全路線で復旧

■主な鉄道の運行状況■

●新幹線
＜東北新幹線＞東京―福島、盛岡―新青森で運行。一ノ関―盛岡は24日ごろ、福島―仙台は27日ごろ、仙台―一ノ関は4月末以降に再開予定
＜山形新幹線＞全線（東京―新庄）で運行
＜秋田新幹線＞盛岡―秋田で運行。東京―盛岡は今月末以降に再開予定

●JR在来線の再開見込み
※16日は陸羽東線の小牛田―新庄で再開予定
＜東北線＞仙台―一ノ関、岩切―利府は21日ごろ、黒磯―安積永盛は17日
＜大船渡線＞一ノ関―気仙沼は18日
＜仙山線＞愛子―山寺は23日ごろ
＜仙石線＞小鶴新田―東塩釜は19日ごろ
＜石巻線＞小牛田―前谷地は17日
＜常磐線＞いわき―四ツ倉は17日。上野―高萩の特急も同日再開予定。上野―いわきの特急は4月下旬

●その他
＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
＜仙台市地下鉄＞29日に全線再開予定。富沢―台原は運行
＜阿武隈急行＞瀬上―保原、角田―槻木は18日再開予定。保原―富野は運行

主な鉄道の運行状況

※16日予定含む